

宮崎県で発生した新型コロナウイルスの分子疫学調査 (第一報)

微生物部

○三好めぐみ、宮原加奈、西田倫子
三浦美穂、吉野修司、杉本貴之
黒田 誠(国立感染症研究所病原体
ゲノム解析研究センター)

新型コロナウイルス感染症について

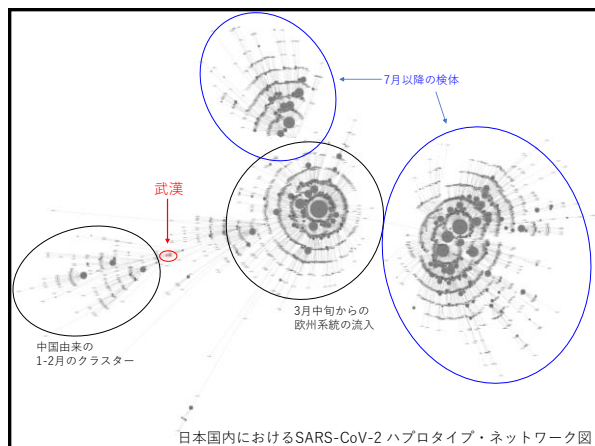
病原体:SARS-CoV-2

感染経路:飛沫感染、接触感染

潜伏期間:1~14日

感染可能期間:発症2日前~発症後7から10日

- ・2019年12月 中国武漢市で確認
- ・2020年 1月15日 日本で初めて確認
- ・2020年 3月 4日 宮崎で初めて確認
- 2021年 1月31日までに1820件の陽性



目的

宮崎県のハプロタイプ・ネットワーク図の作成

ハプロタイプ・ネットワーク図と疫学情報の照合



疫学情報だけでは分からなかった知見を得る

対象

期間:2020年3月~10月

当所でSARS-CoV-2陽性と判明した検体

- ▷Ct値32未満の抽出RNA
- ▷国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センターで解析できた検体

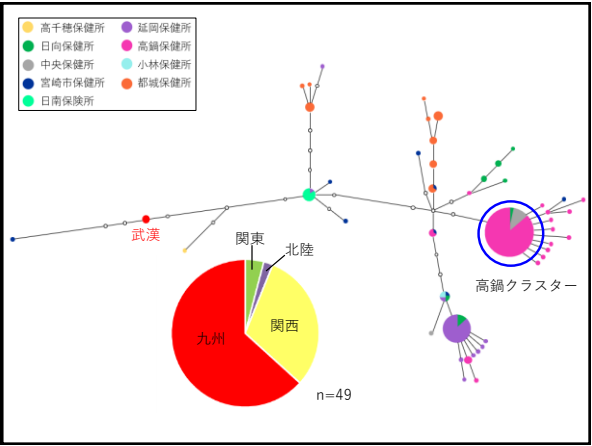
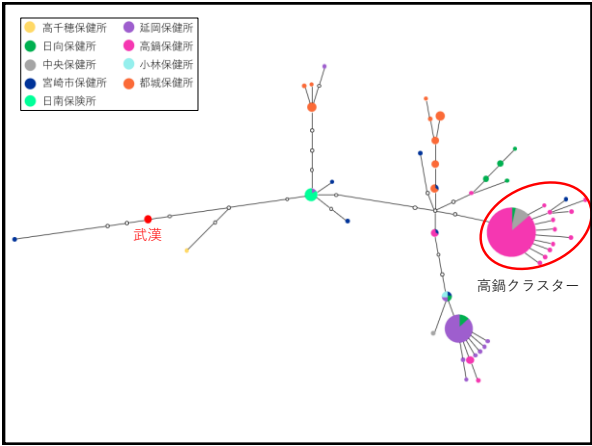
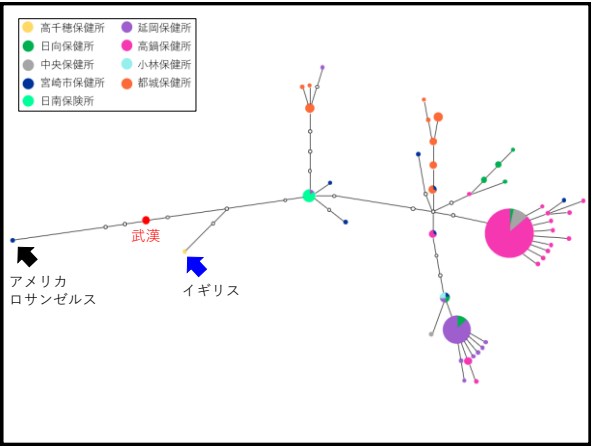
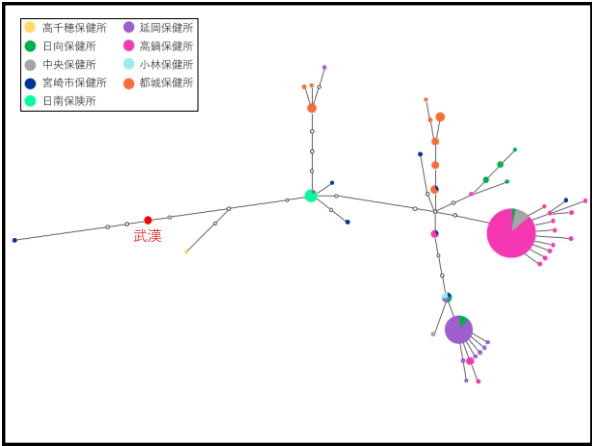
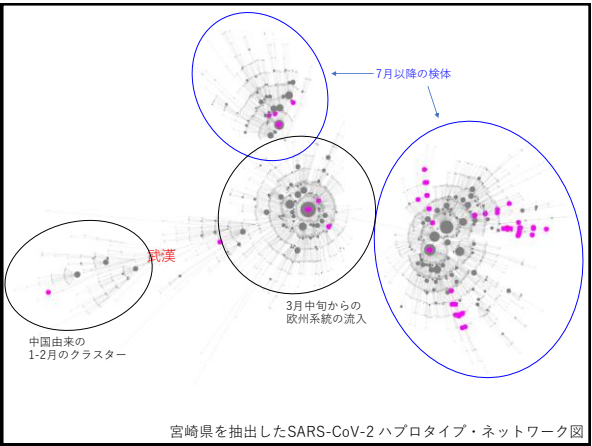


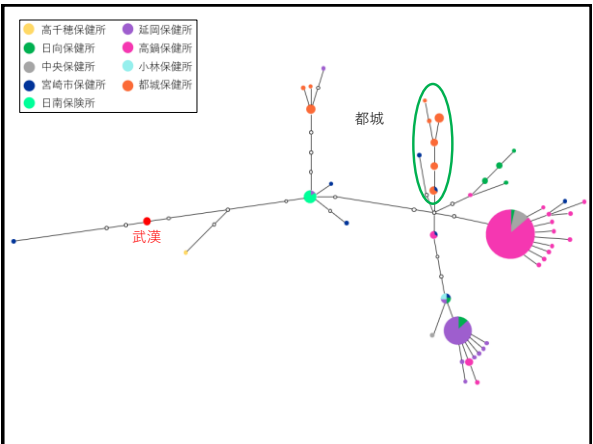
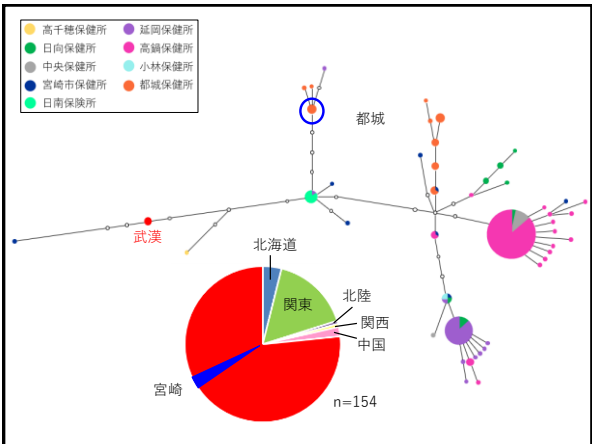
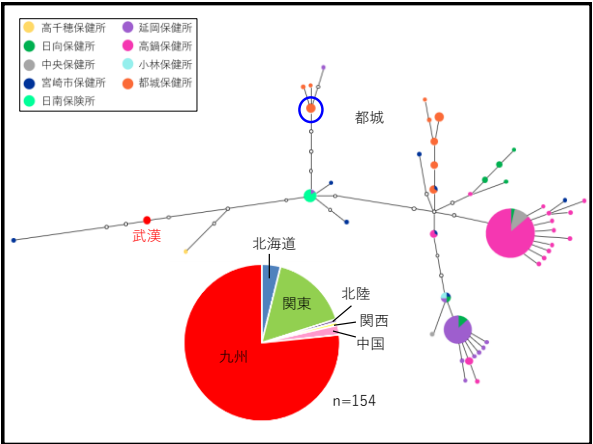
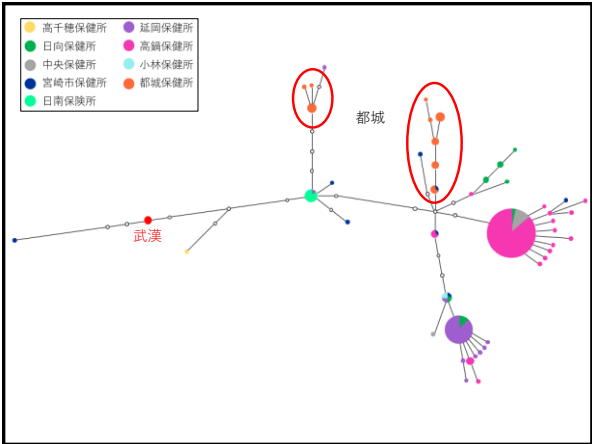
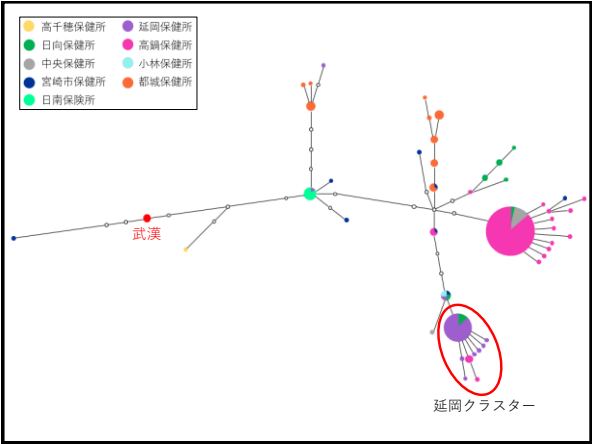
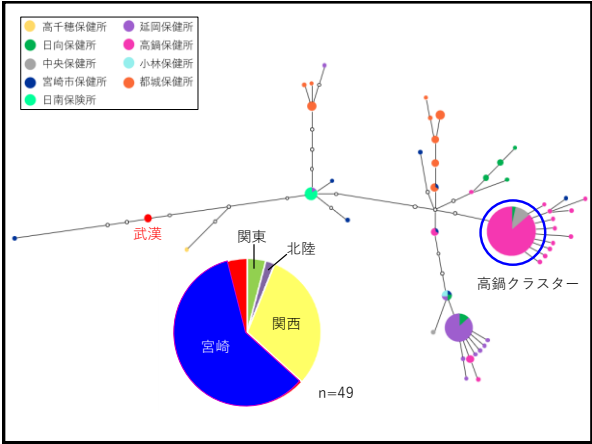
114検体 / 133検体(送付数)

方法

- (1) COVID-19疑いの患者検体を当所でリアルタイムone-step RT-PCR法を用いて検査
- (2) 抽出RNAを病原体ゲノム解析研究センターに送付し、次世代シーケンサーで解析
- (3) 宮崎県のハプロタイプ・ネットワーク図の作成
- (4) ネットワーク図と疫学情報の照合

結果





考 察

- ・ネットワーク図の完成には、各保健所の協力と詳細な疫学情報が必要。
- ・全ての陽性検体が解析できているわけではないため、正確な情報を収集することが困難。
- ・疫学情報だけでは不明だった点が、ゲノム解析により得られる知見もあることから、積極的な調査と情報収集が求められる。

謝 辞

今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました、県内各保健所の皆様に深謝いたします。

